



## ハリス グローバル バリュース株ファンド(年4回決算型)の 基準価額の下落について

2月下旬以降、新型コロナウイルスの感染拡大により世界の株式市場は軟調に推移しています。3月15日(日)には、FRB(米連邦準備理事会)が臨時のFOMC(米連邦公開市場委員会)を開催し、政策金利を1%引き下げ、量的金融緩和の再開を決定したものの、これがかえって景気への懸念をあおったことや、トランプ米大統領が経済的混乱は夏まで続く可能性がある発言したこと、3月16日の海外株式市場は急落しました。このような中、3月17日のハリス グローバル バリュース株ファンド(年4回決算型)の基準価額は、前営業日(3月16日)と比べ753円下落(▲10.92%)の6,140円となりました。

表① 主要各国株価指数

	3月13日	3月16日	騰落率
米国(NYダウ)	23,185.62	20,188.52	▲12.93%
スイス(SMI)	8,367.56	8,227.08	▲1.68%
ドイツ(DAX)	9,232.08	8,742.25	▲5.31%
英国(FT100)	5,366.11	5,151.08	▲4.01%

※基準価額への反映を考慮して前営業日の値を表示しています。

表② 主要通貨の対円為替レート

	3月16日	3月17日	騰落率
米ドル	106.91	106.60	▲0.29%
スイスフラン	112.48	112.42	▲0.05%
ユーロ	118.95	119.08	0.11%
英ポンド	131.81	130.49	▲1.00%

※対顧客電信売買相場仲値(TTM)を表示しています。

当ファンドは実質的な運用をマザーファンドで行っています。マザーファンドの外貨建資産の運用指図に関する権限につきましては、米ハリス・アソシエイツ・エル・ピー(以下「ハリス・アソシエイツ社」といいます。)に運用を委託しています。

現在の状況は流動的であり、ハリス・アソシエイツ社では新型コロナウイルスが投資先の企業価値に与える可能性について注視しています。グローバル株式市場では株価が乱高下していますが、本来の企業価値は株価が示唆するような大きな変動をしているわけではないとハリス・アソシエイツ社では考えています。旅行、運輸、エネルギー関連の業種などでは一部の銘柄の企業価値を修正しましたが、その幅は株価下落率よりも遥かに小さなものとなっています。また、現段階においては、多くの銘柄において、企業価値への影響は限定的であると判断しています。

株価が下落するのは不快なことではありますが、ハリス・アソシエイツ社では、現在の状況を、安くなった株価で買い増しを行ったり、新しい銘柄を買う機会と捉えています。株式市場の不安定な状況は当面続くことが想定されますが、ハリス・アソシエイツ社では、これまで同様、一貫したバリュースのアプローチにより投資を行う所存です。

以上

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003207

## ■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくご覧ください。

## ■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 5.5%(税抜 5.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長(金商)第 301 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、当社といいます）が、情報提供を目的として作成したものであり、当該商品の勧誘を目的としたものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。■当該ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。）ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当該ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。 2003207